

# suisuiCHECK2.0 簡易操作マニュアル

平成 26 年 8 月 11 日  
SFKメディカル株式会社

## 目次

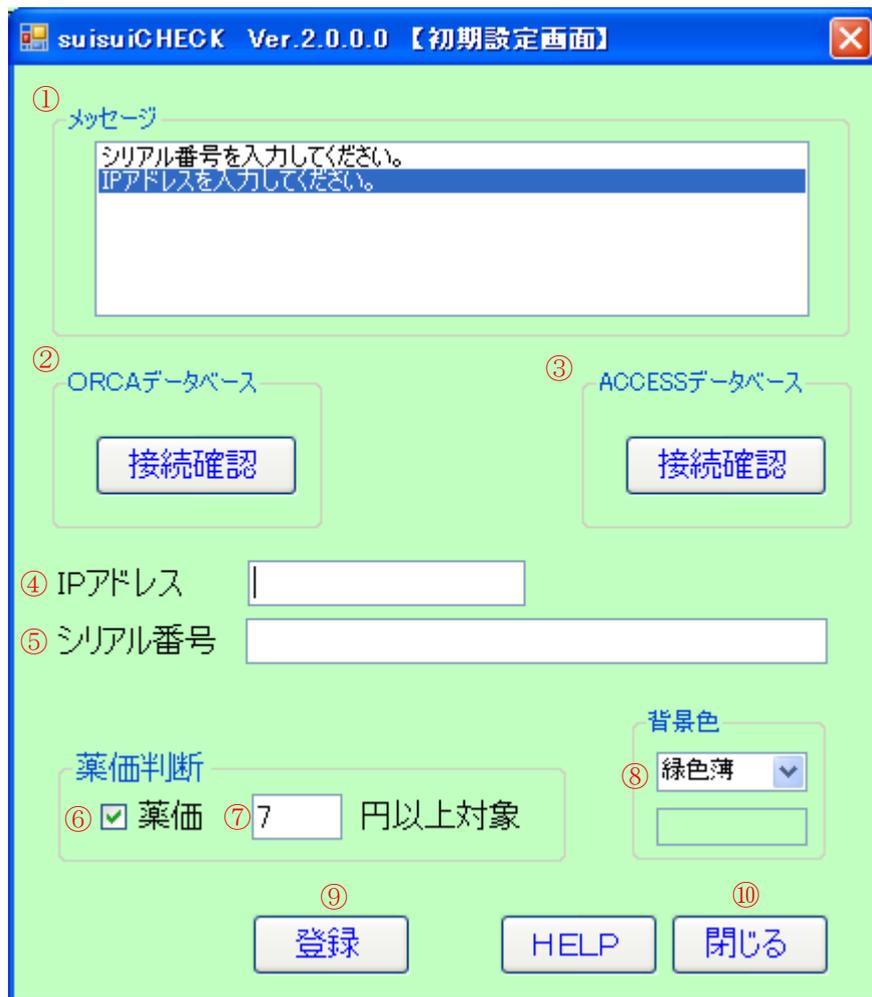
|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1. はじめに .....                 | 3  |
| 2. 初期設定 .....                 | 4  |
| 3. suisuiCHECK での通常操作 .....   | 6  |
| 4. 合否判定結果の確認 .....            | 11 |
| 5. 適応症修正 .....                | 13 |
| 6. プログラム .....                | 17 |
| 7. マスター .....                 | 17 |
| 8. HELP .....                 | 20 |
| 9. ORCA連携設定 .....             | 21 |
| 9.1 PostgresDB 設定(初期設定) ..... | 21 |
| 9.2 ORCA での操作(初回のみ) .....     | 23 |

## 1. はじめに

この度はレセプト病名検査ソフトウェア suisuiCHECK をご購入いただきありがとうございます。  
本ソフトウェアは IT 技術による「医療機関におけるレセプト点検作業の効率化」を目的とした製品です。院内処方及び院外処方による投薬及び検査項目に対するレセプト病名のチェック漏れ点検業務を支援します。

## 2. 初期設定

レセプトチェック画面で、初期設定ボタンをクリックします。



### ①メッセージ

入力項目に移動した時に、操作ガイダンスが表示されます。

### ②ORCAデータベース 接続確認

接続開始ボタンをクリックすると、ORCAとの接続を確認し、結果がメッセージに表示されます。

### ③ACCESSデータベース 接続確認

接続開始ボタンをクリックすると、ACCESSとの接続を確認し、結果がメッセージに表示されます。

### ④IPアドレス

ORCAシステムが常駐するPCのIPアドレスを入力します。

### ⑤シリアル番号

システム購入時に、SFKメディカルより提供されるシリアル番号を入力します。

### ⑥薬価判断 薬価

薬価判断をする(ON)／しない(OFF)の設定を行います。

### ⑦薬価判断 円以上対象

薬価判断する(ON)場合、閾値を入力します。(閾値未満は対象外になります。)

⑧背景色

コンボボックスより背景色を選択します。

選択後、初期設定画面の背景色が指定色になります。

また、他の画面の背景色も同様に変更した色になります。

⑨登録

設定値をファイルに保存します。

⑩閉じる

登録済、または、何も変更しなかった場合に画面が閉じられます。

上記以外は下記の確認画面を表示します。



更新する場合は「はい」、更新しない場合は「いいえ」をクリックします。

### 3. suisuiCHECK での通常操作

#### ①suisuiCHECK 起動



デスクトップ上の「suisuiCHECK2.0」アイコンをダブルクリックし起動します。

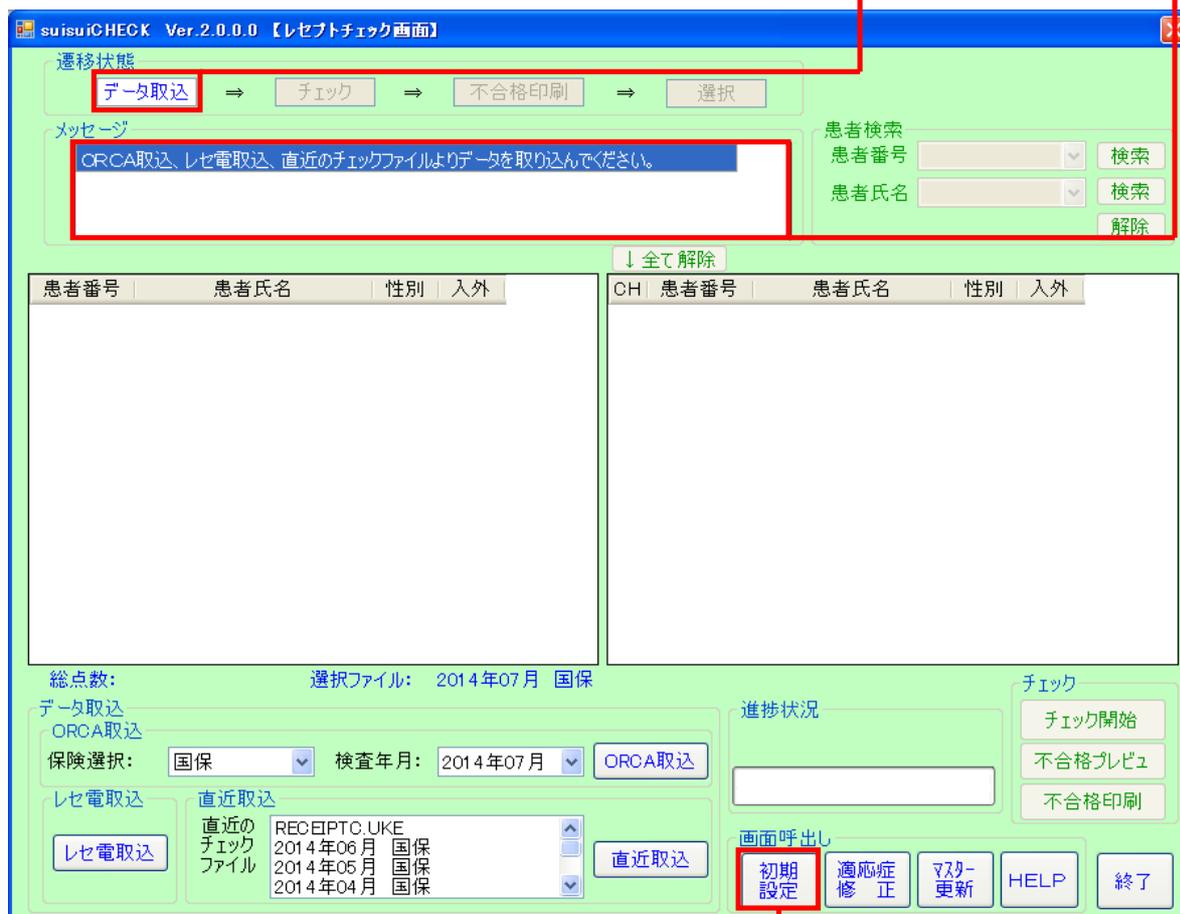
#### ②起動画面とレセプトチェック画面



データ取込待ちを表すためにフリッカーしています。

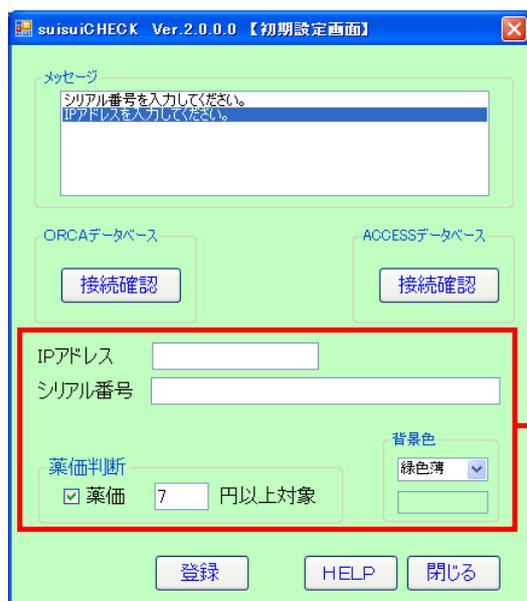
操作ガイダンス等を表示します。

約 3 秒後に以下の画面が表示されます。



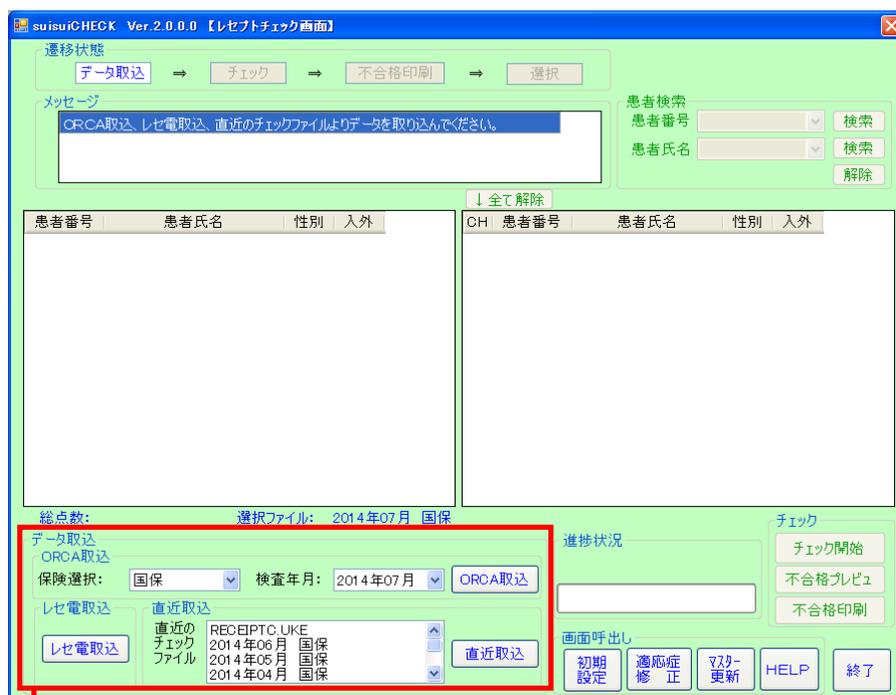
「初期設定」ボタンをクリックし初期設定画面を起動します。

### ③初期設定(初回のみ)



IP アドレス、シリアル番号、薬価判断、薬価判断する場合の対象外閾値、画面の背景色を設定します。

### ④データ取込



ORCA取込: 保険選択、検査年月選択後、ORCA取込ボタンを押してください。  
取込状況が進捗状況に表示します。

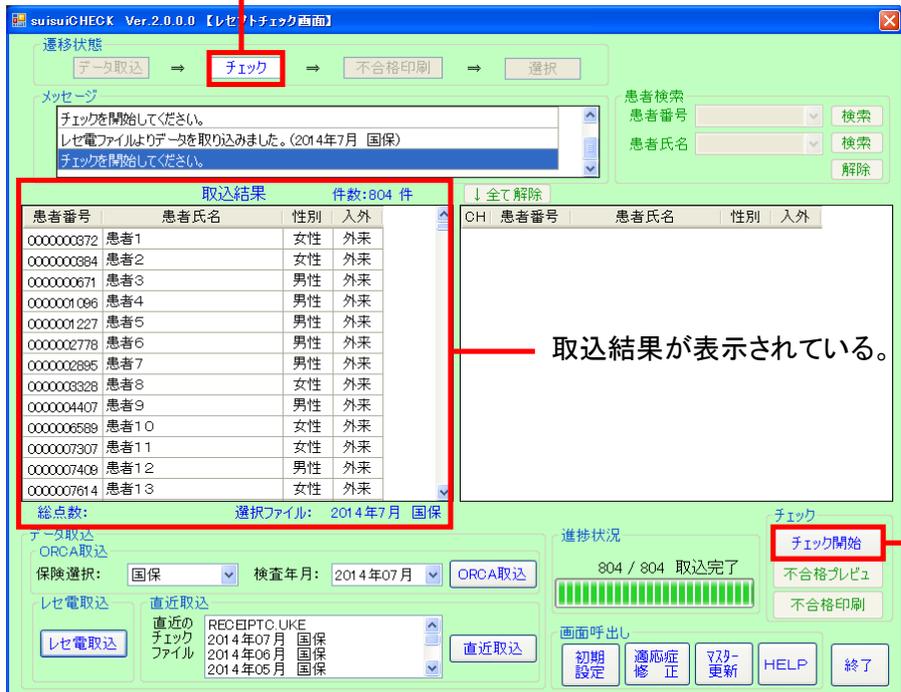
直近取込: 直近のチェックファイルを選び、直近取込ボタンを押してください。  
取込状況が進捗状況に表示します。

レセ電取込: レセ電取込ボタンを押すと、レセ電ファイルの選択画面が表示します。  
該当ファイルを開いてください。取込状況が進捗状況に表示します。

⑤チェック開始

チェック待ちを表すために  
フリッカーしています。

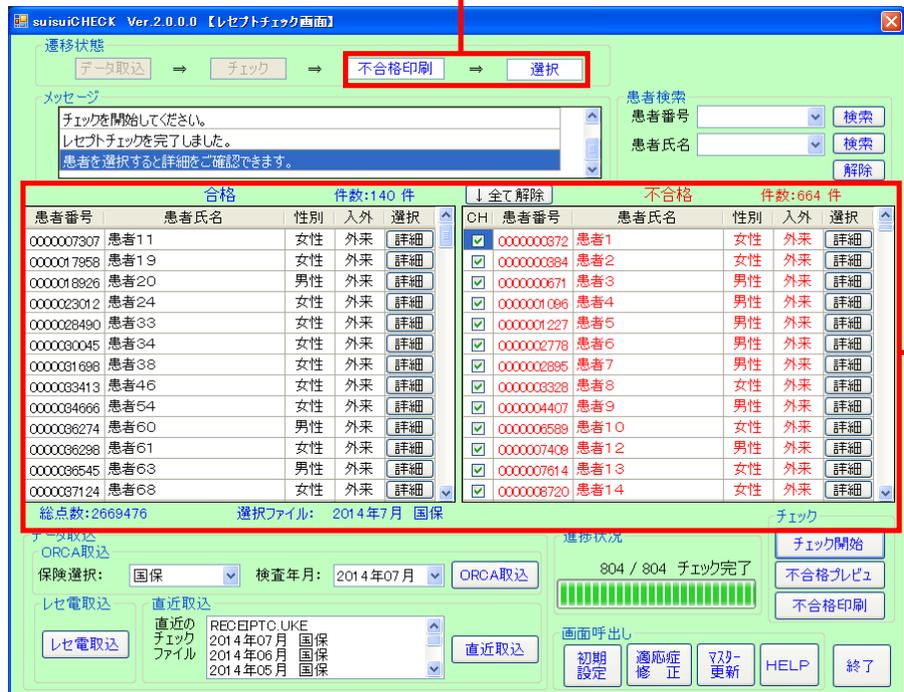
「チェック開始」をクリックします。



取得結果が表示されている。

⑥チェック完了

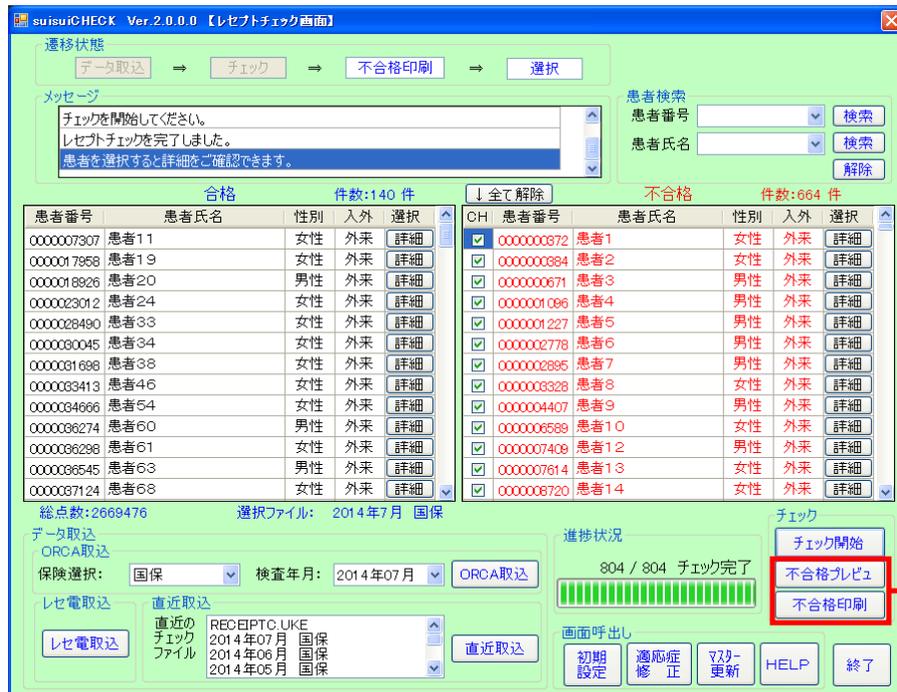
不合格印刷待ち、選択待ちを表すために  
フリッカーしています。



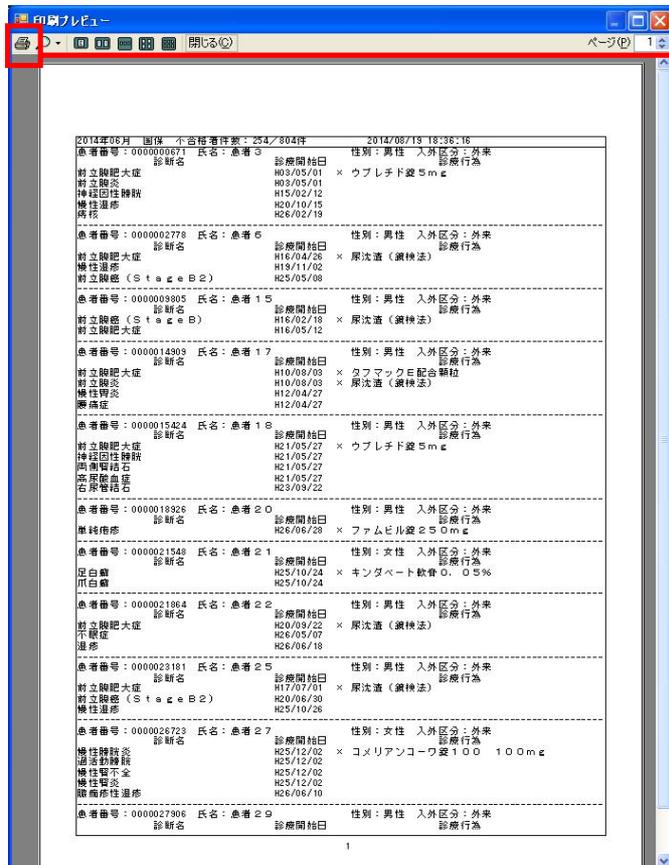
合格者と不合格者が  
分けて表示されます。

「不合格プレビュー」または  
「不合格印刷」をクリックします。

⑦不合格印刷



不合格プレビューボタンを押すと、印刷プレビュー画面を表示します。



プレビュー内容を確認して、  
プリンターアイコンをクリックすると  
印刷します。

不合格印刷ボタンを押すと、印刷画面を表示します。



詳細ボタンをクリックして、レセプトチェック詳細画面を表示させる。

#### 4. 合否判定結果の確認

##### ①チェック終了後



##### ②レセプトチェック詳細画面にて確認

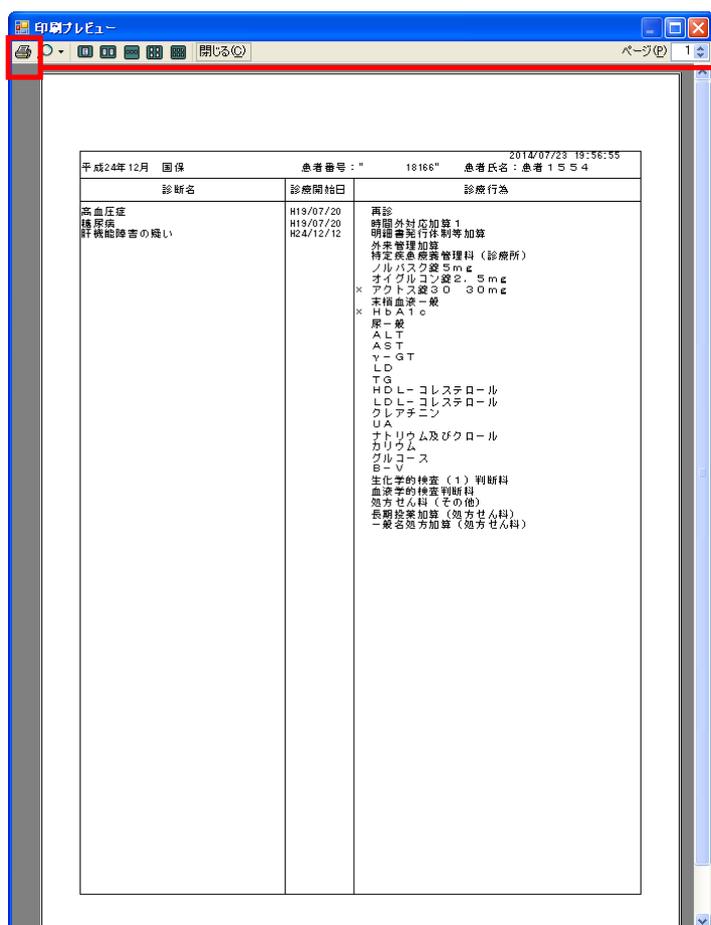


「プレビュー」または「印刷」をクリックします。

前データボタン、次データボタンで患者を切り替えることができます。

不合格項目(赤字)を確認する。不合格項目の適応症ボタンをクリックすると、5 適応症画面が表示される。

プレビューボタンを押すと、印刷プレビュー画面を表示します。



プレビュー内容を確認して、  
プリンターアイコンをクリックすると  
印刷します。

印刷ボタンを押すと、印刷画面を表示します。



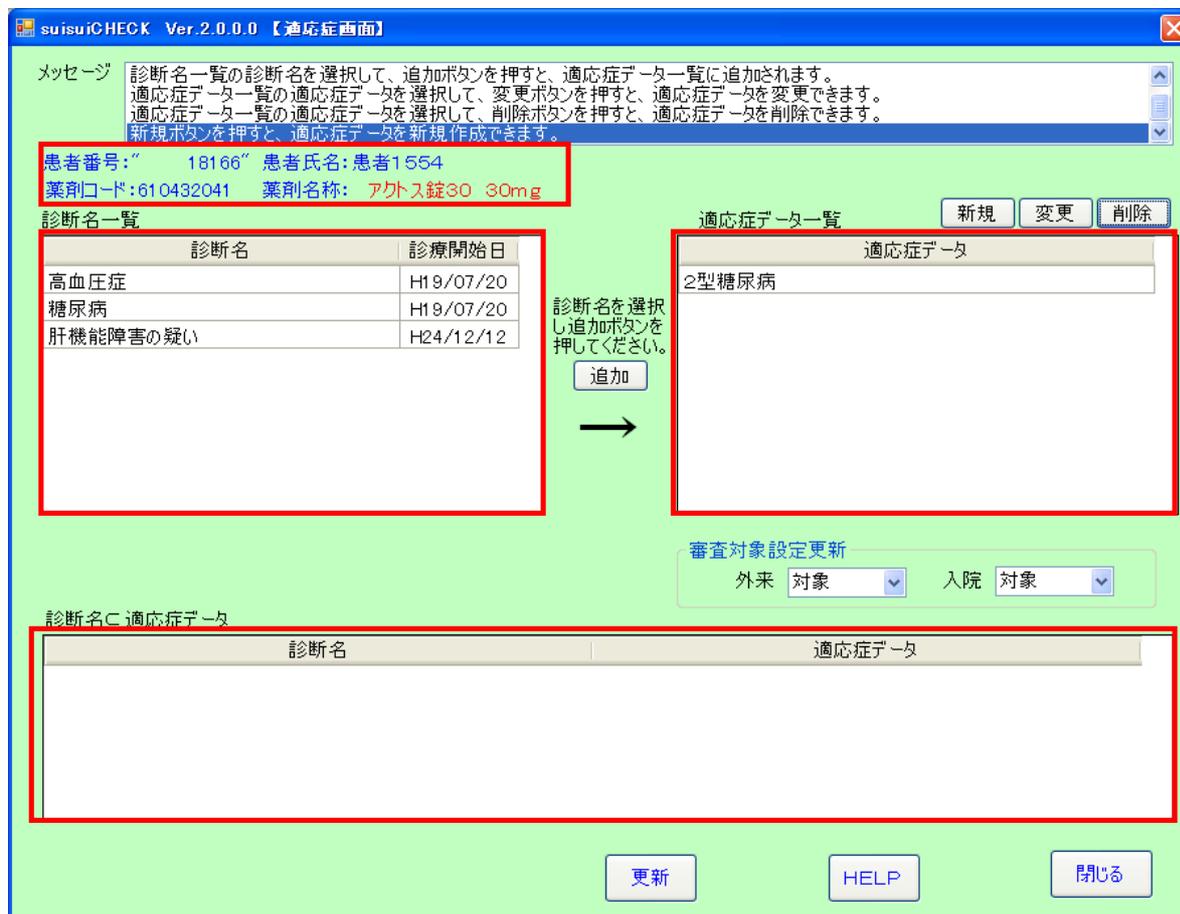
プリンター名を変更できます。

OKボタンをクリックすると印刷します。

## 5. 適応症修正

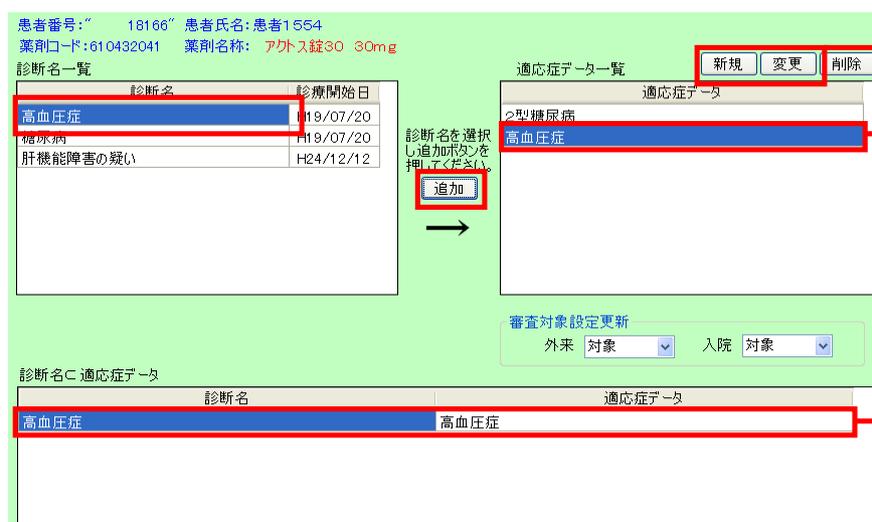
### ①チェックデータ確認

前画面で選択した診療行為であることを確認します。



### ②適応症データの追加(例:高血圧症)

診断名の高血圧症を選択して、追加ボタンをクリックします

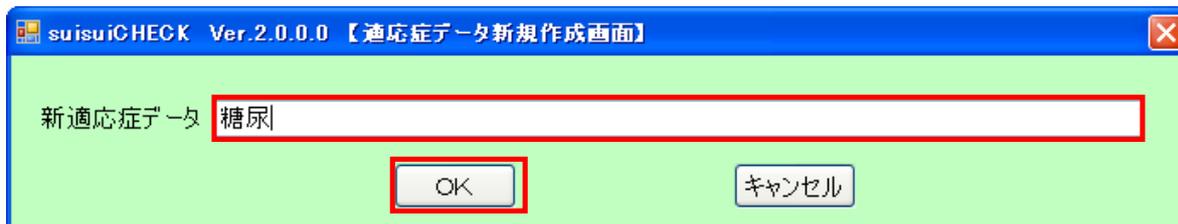


新規または変更ボタンをクリックするとポップアップ画面を表示します。

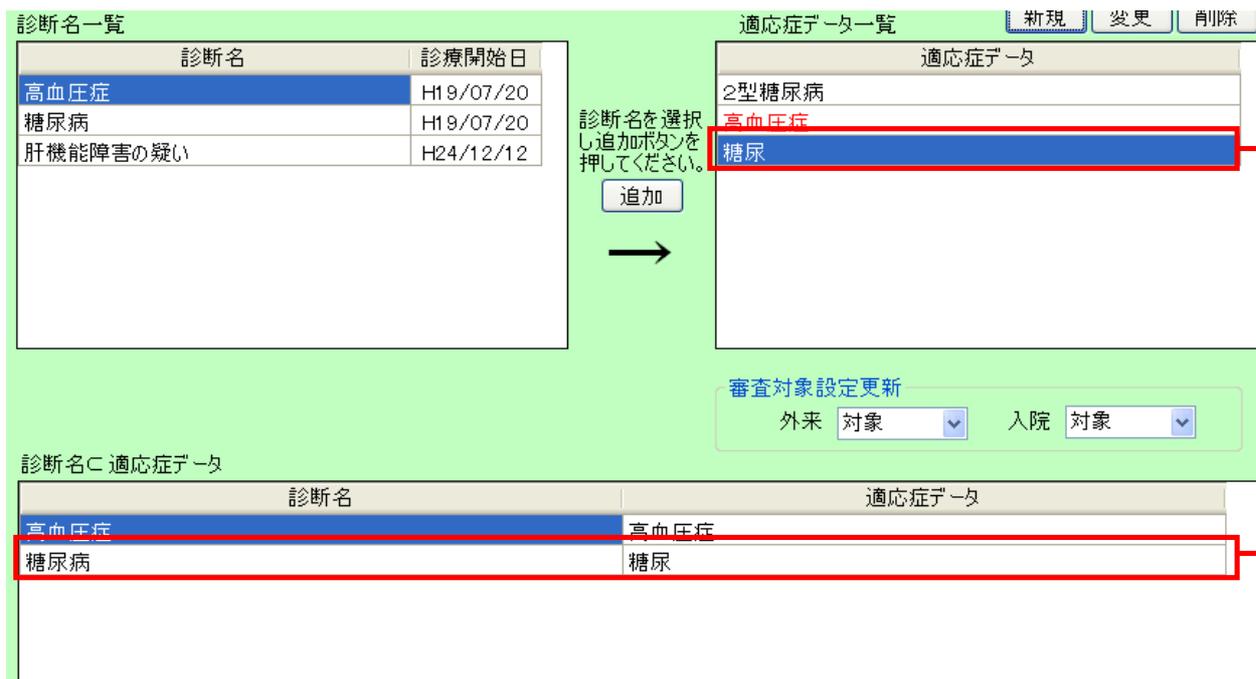
適応症データ一覧と診断名C適応症データに追加されます。

### ③新規

新規ボタンをクリックすると、下記適応症データ新規作成画面をポップアップ表示します。



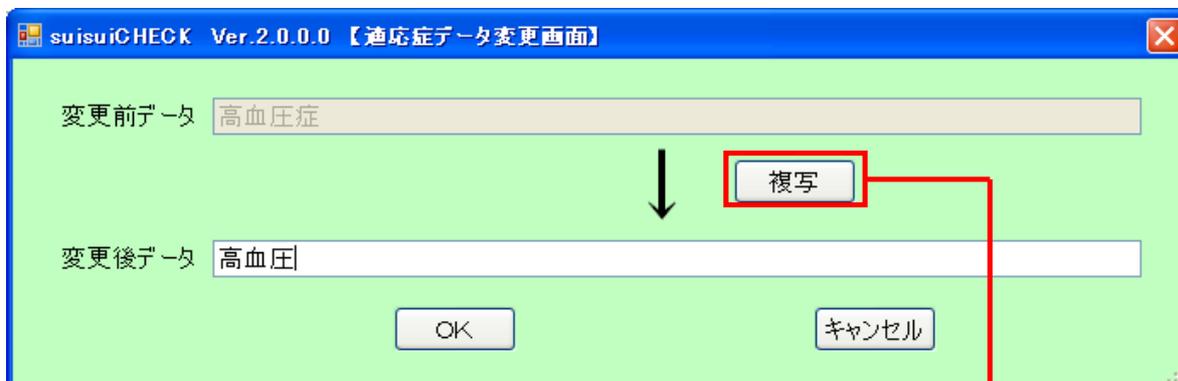
新適応症データ(例:糖尿)を入力して、OKボタンをクリックします。



適応症データ一覧と診断名C適応症データに新規作成されます。

### ④変更

適応症データを選択して(例:高血圧症)、変更ボタンをクリックすると、下記適応症データ変更画面をポップアップ表示します。



変更後データ(例:高血圧)を入力して、OKボタンをクリックします。

複製ボタンをクリックすると、変更前データが変更後データへ複製します。

診断名一覧

| 診断名      | 診療開始日     |
|----------|-----------|
| 高血圧症     | H19/07/20 |
| 糖尿病      | H19/07/20 |
| 肝機能障害の疑い | H24/12/12 |

診断名を選択し追加ボタンを押してください。

追加

→

適応症データ一覧

新規 変更 削除

| 適応症データ |
|--------|
| 2型糖尿病  |
| 高血圧    |
| 糖尿     |

審査対象設定更新

外来 対象 入院 対象

診断名C 適応症データ

| 診断名  | 適応症データ |
|------|--------|
| 高血圧症 | 高血圧    |
| 糖尿病  | 糖尿     |

適応症データ一覧と診断名C 適応症データが変更されます。

### ⑤削除

適応症データを選択して(例:糖尿)、削除ボタンをクリックします。

診断名一覧

| 診断名      | 診療開始日     |
|----------|-----------|
| 高血圧症     | H19/07/20 |
| 糖尿病      | H19/07/20 |
| 肝機能障害の疑い | H24/12/12 |

診断名を選択し追加ボタンを押してください。

追加

→

適応症データ一覧

新規 変更 削除

| 適応症データ |
|--------|
| 2型糖尿病  |
| 高血圧    |
| 糖尿     |

審査対象設定更新

外来 対象 入院 対象

診断名C 適応症データ

| 診断名  | 適応症データ |
|------|--------|
| 高血圧症 | 高血圧    |

適応症データ一覧と診断名C 適応症データより削除されます。

⑥外来・入院

対象／対象外を選択します。



審査対象設定更新

外来 対象 ▼ 入院 対象 ▼

⑦更新

更新ボタンをクリックします。画面情報を Access データベースに登録されます。

⑧閉じる

閉じるボタンをクリックします。画面が閉じられ、レセプトチェック詳細画面に戻ります。

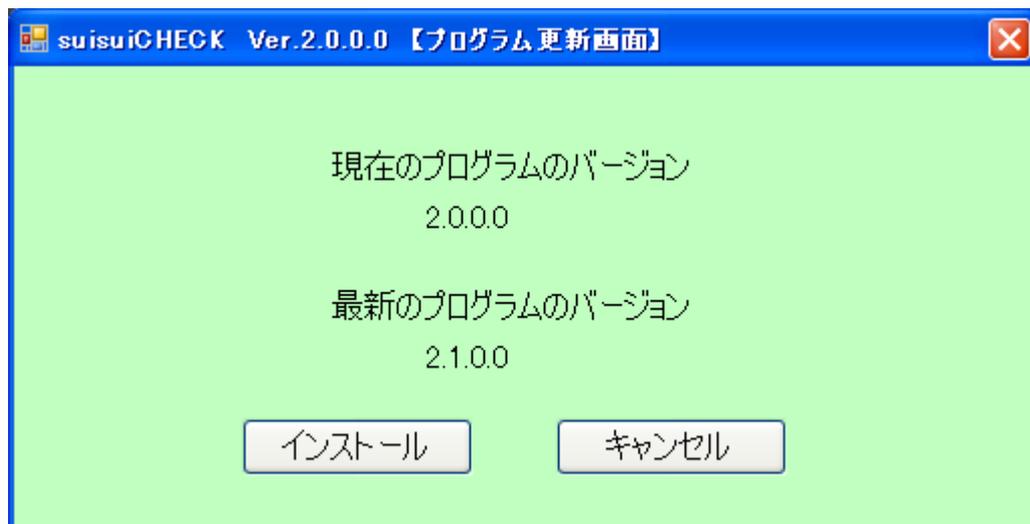
②～⑥の操作を行い、⑦更新しないで、閉じるボタンがクリックされた場合、下記の確認画面が表示されます。



更新する場合は「はい」、更新しない場合は「いいえ」をクリックします。

## 6. プログラム

プログラムがバージョンアップすると、下記プログラム更新画面が自動的に表示します。

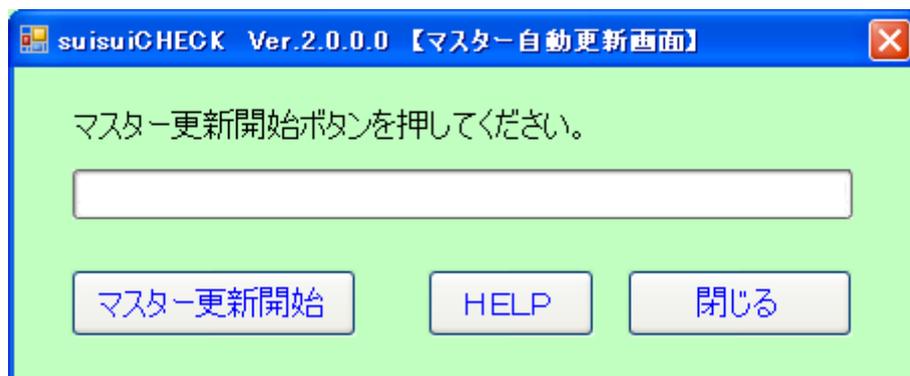


インストールボタンをクリックしてください。

インストールが開始し、suisuiCHECK は終了します。

## 7. マスター

マスターがバージョンアップすると、下記画面が自動的に表示します。



マスター更新開始ボタンをクリックしてください。

マスター更新が開始し、マスター更新終了後、レセプトチェック画面が表示します。

但し、プログラム更新がある場合は、前述のプログラム更新画面が表示します。

## 8. 補助機能

### 8.1 適応症検索

レセプトチェック画面で、適応症修正ボタンをクリックすると図 8.1 を表示します。



図 8.1 診療行為検索画面

#### ①メッセージ

操作ガイダンスを表示します。

#### ②リスト

検索結果を表示します。

#### ③検索種別

診療行為(検査他)、医薬品、特定器材の中から選択します。

#### ④検索キー

検索キーを入力します。

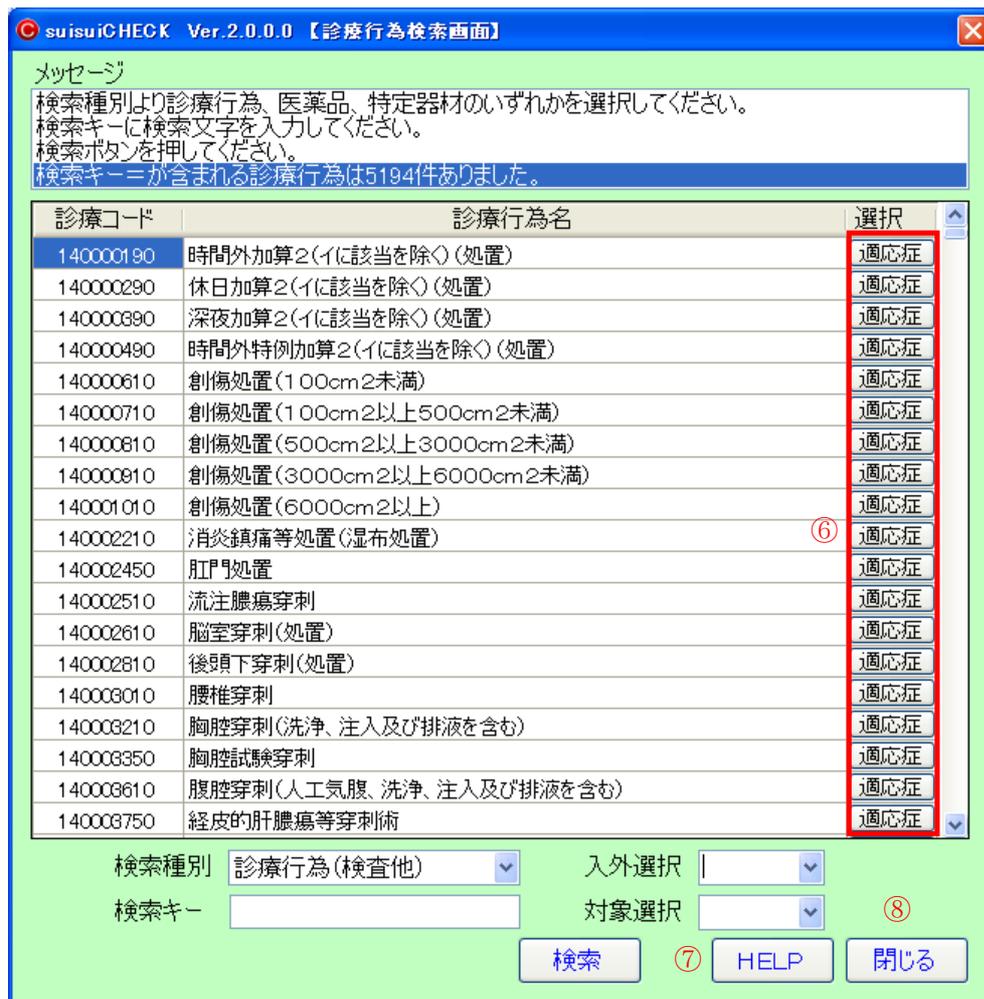
#### ⑤検索

検索ボタンをクリックします。

検索キーを含む検索行為名を抽出しリストに表示します。

検索キーが空白の場合、全表示します。

検索後の画面を下記に示します。



⑥適応症

確認または更新したい診療行為名の適応症ボタンをクリックします。

適応症画面(5 適応症修正参照)を表示します。

但し、患者番号と患者氏名は表示されません。

⑦HELP

HELPボタンをクリックします。HELP画面を表示します。

⑧閉じる

閉じるボタンをクリックします。診療行為検索画面を閉じます。

審査対象／審査対象外の確認を行う場合は、以下の手順となります。

⑨入外選択

入院、外来の中から選択します。

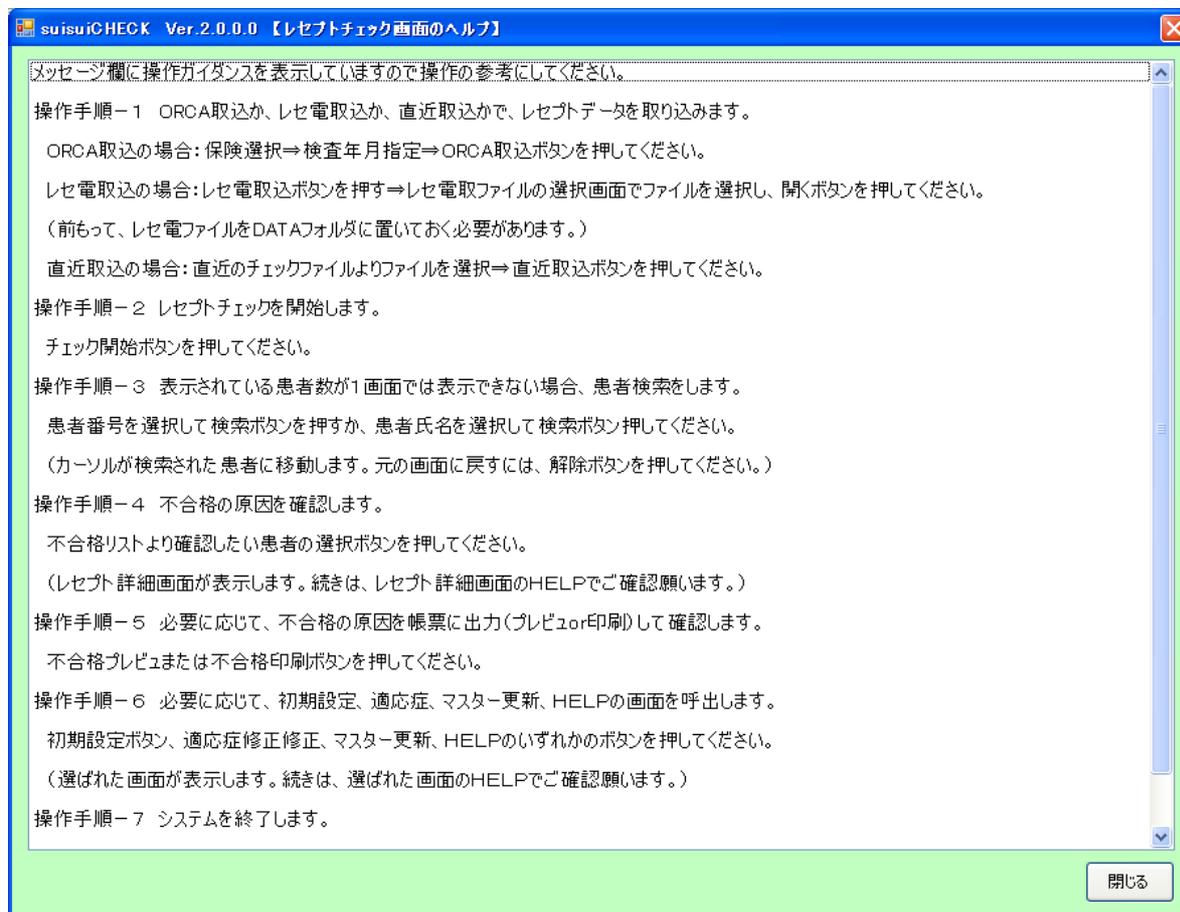
⑩対象選択

対象、対象外の中から選択します。

検索ボタンをクリックします。

## 8. HELP

レセプトチェック画面で、HELPボタンをクリックします



レセプトチェック画面における基本操作の手順が表示されます。

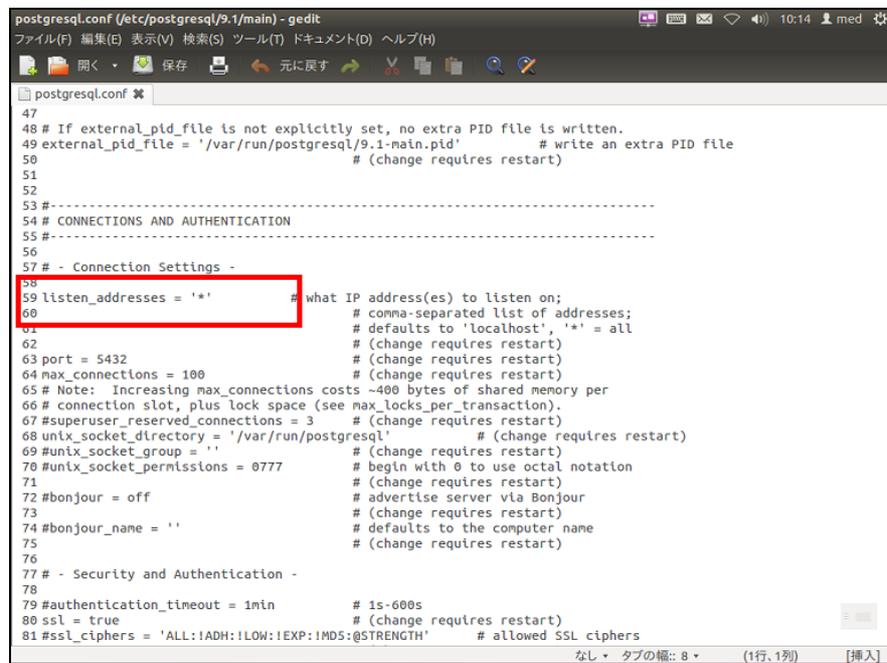
他の画面におけるHELPボタンも同様に、その画面における基本操作の手順が表示されます。

## 9. ORCA連携設定

日医標準レセプトソフト(以下、ORCA)とネットワーク連携してご利用になられる際には、下記設定を ORCA サーバ機にて実施してください。

### 9.1 PostgresDB 設定(初期設定)

#### ① postgresql.conf



```
postgresql.conf (/etc/postgresql/9.1/main) - gedit
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ツール(T) ドキュメント(D) ヘルプ(H)
postgresql.conf
47
48 # If external_pid_file is not explicitly set, no extra PID file is written.
49 external_pid_file = '/var/run/postgresql/9.1-main.pid' # write an extra PID file
50 # (change requires restart)
51
52
53 #-----
54 # CONNECTIONS AND AUTHENTICATION
55 #-----
56
57 # - Connection Settings -
58 listen_addresses = '*' # what IP address(es) to listen on;
59 # comma-separated list of addresses;
60 # defaults to 'localhost', '*' = all
61 # (change requires restart)
62 # (change requires restart)
63 port = 5432 # (change requires restart)
64 max_connections = 100 # (change requires restart)
65 # Note: Increasing max_connections costs ~400 bytes of shared memory per
66 # connection slot, plus lock space (see max_locks_per_transaction).
67 #superuser_reserved_connections = 3 # (change requires restart)
68 unix_socket_directory = '/var/run/postgresql' # (change requires restart)
69 #unix_socket_group = '' # (change requires restart)
70 #unix_socket_permissions = 0777 # begin with 0 to use octal notation
71 # (change requires restart)
72 #bonjour = off # advertise server via Bonjour
73 # (change requires restart)
74 #bonjour_name = '' # defaults to the computer name
75 # (change requires restart)
76
77 # - Security and Authentication -
78
79 #authentication_timeout = 1min # 1s-600s
80 ssl = true # (change requires restart)
81 #ssl_ciphers = 'ALL:!ADH:!LOW:!EXP:!MD5:@STRENGTH' # allowed SSL ciphers
なし・ タブの幅: 8 (1行, 1列) [挿入]
```

#### 59 行目

```
#listen_addresses = 'localhost'
↓
listen_addresses = '*'
```

②pg\_hba.conf

```

pg_hba.conf (/etc/postgresql/9.1/main) - gedit
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ツール(T) ドキュメント(D) ヘルプ(H)
pg_hba.conf *
65 # use "pg_ctl reload" to do that.
66
67 # Put your actual configuration here
68 #
69 #
70 # If you want to allow non-local connections, you need to add more
71 # "host" records. In that case you will also need to make PostgreSQL
72 # listen on a non-local interface via the listen_addresses
73 # configuration parameter, or via the -i or -h command line switches.
74
75
76
77
78 # DO NOT DISABLE!
79 # If you change this first entry you will need to make sure that the
80 # database superuser can access the database using some other method.
81 # Noninteractive access to all databases is required during automatic
82 # maintenance (custom daily cronjobs, replication, and similar tasks).
83 #
84 # Database administrative login by Unix domain socket
85 local all postgres peer
86
87 #TYPE DATABASE USER ADDRESS METHOD
88 host all all 192.168.1.0/24 trust
89 # local is for Unix domain socket connections only
90 local all all peer
91 # IPv4 local connections:
92 host all all 127.0.0.1/32 md5
93 # IPv6 local connections:
94 host all all ::1/128 md5
95 # Allow replication connections from localhost, by a user with the
96 # replication privilege.
97 #local replication postgres 127.0.0.1/32 peer
98 #host replication postgres 127.0.0.1/32 md5
99 #host replication postgres ::1/128 md5
    
```

88 行目を追加

| #TYPE | DATABASE | USER | ADDRESS        | METHOD |
|-------|----------|------|----------------|--------|
| 空白行   |          |      |                |        |
| ↓     |          |      |                |        |
| #TYPE | DATABASE | USER | ADDRESS        | METHOD |
| host  | all      | all  | 192.168.1.0/24 | trust  |

※ADDRESS は、医院機関のネットワーク環境にあわせて設定変更する必要があります。

例:ORCA サーバが 192.168.1.101 場合、ADDRESS は 192.168.1.0/24 とする。

## 9.2 ORCA での操作(初回のみ)

### ①システム情報メンテナンス

01 医事業務 → 91 マスタ登録 → 101 システム管理マスタ → 2005 レセプト・総括印刷情報  
レセ電タブ内のレセ電出力区分を設定する。

例: 社保、国保、広域連合を「入院・入院外」と設定する。

### ②42「明細書」

01 医事業務 → 42 明細書

入院・入院外それぞれで明細書作成処理を行う。